

科目名	助産学概論 (Introduction to Midwifery)			科目コード	S101
単位数	1 単位	選択区分	必修	時間数	15時間
区分	助産学基礎領域	履修時期	前期	関連DP	助①②⑥
担当教員	今村 朋子、井上 明子				
授業概要	助産学の基本概念を理解し、助産師の役割と責務を遂行するための知識を教授する。また、学外授業で現地見学を取り入れ、助産師としての視野を広める機会とする。				
授業目標	1 助産の意義や活動の専門性、助産師の役割と責務など、助産学の基本概念と助産師の職業特性について説明できる。 2 助産の歴史の変遷、国内外の社会的動向や課題、様々な活躍の場について学習し、助産師としての将来展望について考察できる。 3 授業全体を通して、“助産師:Midwife”すなわち「女性とともに」という対象に寄り添う基本姿勢を中心にしながら、助産師としての自己のありかたを考え、助産観を深めることができる。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	助産の基本概念	助産とはなにか 助産の対象 助産を支える原理原則 助産学の発展のために	今村朋子
2	助産師の業務と活動	職業的責務、法的責任、倫理的責任 母子保健施策における助産師の役割	
3	出産・子育てと文化	文化の中の出産と助産 日本の産育習俗、愛媛の出産文化	
4		高忍日賣神社 現地見学	今村朋子 井上明子
5	助産の歴史	日本における助産の歴史と助産師教育の変遷	今村朋子
6	助産の国際比較	諸外国における助産師教育と業務範囲	
7	開業権と職業的自立	医学モデルと助産学モデル 助産師の自立とは？ 助産師の開業権	
8	様々な場での助産師活動	診療所における分娩の動向、助産師の活動 クリニックの現地見学 (教育協力者)	今村朋子 井上明子
成績評価方法		・レスポンス(第3-4回、6-7回:各20%) ・見学準備とレスポンス(8回:40%) ・授業に対する取り組み、積極性(20%)	
教科書		・我部山キヨ子・武谷雄二「助産学講座1 助産学概論」(医学書院)	
参考図書等		・白井千晶 産み育てと助産の歴史 近代化の200年を振り返る(医学書院) ・青木 康子編「新助産学シリーズ 助産学概論」(青海社)	
授業時間外の学習について		・事前配布資料がある場合は、資料を読んでから授業に参加する。 ・現地見学(8回)に向け、事前に施設について調べ、質問事項の検討を行う。	
関連科目		・本科目は全ての講義の基盤となる。	
備考		※第5回、第8回は、現地の見学を行う。	